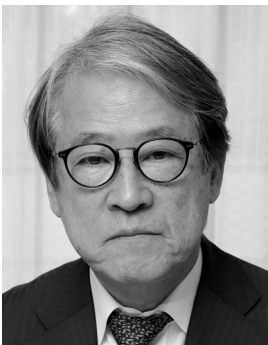


2021年朝鮮半島情勢をよむ

コリア・レポート編集長 辺 真一
ビヨン ジン イル

- *日韓関係における10の火種
- *バイデン政権で軌道修正迫られる韓国
- *波乱呼ぶ国際司法裁判所への提訴案
- *ソウル、釜山市長選が大統領選挙の前哨戦
- *北朝鮮との和解路線にも黄信号
- *内政の混迷深める北朝鮮
- *深刻な食糧不足が再燃か
- *イラン方式が予想される核交渉
- *軍事面での緊張は高まるのか
- *引き続き金正恩の健康問題が最重要事項



柴生田 それでは開会いたします。（拍手）

今回は少し間が空きましたが、皆様おなじみのコリア・レポート編集長の辺さんにおいでいただきました。改めてご紹介の必要もないかもしれませんが、世界的なコロナ禍の中で日本の朝鮮半島への関心も若干薄れている感がありまして、特にマスメディアには登場回数がかなり減っております。しかし、状況はまったく変わらぬいろいろな問題はここに存在しているわけで、われわれは定期的にウオッチしておきたいと考えているわけでございます。韓国は選挙を控えておりますし、北朝鮮では様々な問題が噴出しているようにございますので、そこら辺のところをじっくり伺いたいと思います。それでは辺さんよろしくお願いたします。

日韓関係における10の火種

辺 こんにちは皆さん。ご無沙汰しております。

今年私にとって最初の講演ということになります。コロナの問題もあってテレビに出る回数も少なくなりまして、今の朝鮮半島の情勢、日本と韓国、北朝鮮との関係について話をする機会がありませんので、今日は1時間10分、私が今分析している、日本を中心とした朝鮮半島情勢について順を追ってたっぷり語りたくと思います。

皆さんにとっていちばん気になるのは隣の韓国との関係ではないかと思えます。日韓関係です。日韓関係については史上最悪の関係だと言